

SASE管理設定によるセキュアアクセスログインの失敗

内容

お問い合わせ内容

Cisco Secure Accessのライセンスを要求し、Security Cloud Controlダッシュボードに正常にログインすると、ユーザはSecure Accessアプリケーション自体にログインできなくなります。ライセンス要求プロセスでSASE管理を有効にした後、セキュアアクセスにアクセスしようとする、ログインが失敗します。

環境

- シスコセキュアアクセス
- Cisco Securityクラウドコントロール
- SASE管理が有効

解決策

この問題は、Secure Accessライセンスのクレーム申請プロセスでSASE管理が有効にされたときに自動的に作成された、不要なSD-WANクラウドサブスクリプションをキャンセルすることで解決されました。

問題解決の手順

ステップ1: Platform Managementに移動します。

Security Cloud ControlダッシュボードのPlatform Management > Subscriptionsセクションにアクセスします。

ステップ2：不要なサブスクリプションを特定します。

Secure Accessのトライアルセットアップ中にEnable SASE managementが選択されたときに自動的に要求されたSD-WAN CLOUDサブスクリプションを見つけます。

ステップ3:SD-WANクラウドサブスクリプションをキャンセルします。

SD-WAN CLOUDサブスクリプションのCancelボタンをクリックして、アカウントから削除します。

手順4：セキュアアクセスが使用可能であることを確認します。

SD-WAN Cloudsubscriptionをキャンセルすると、Secure Accessが製品セクションに表示され、ログインできるようになります。

原因

Secure Access試用版ライセンスの申請プロセス中にSASE管理を有効にすると、SD-WAN Cloudサブスクリプションが自動的に作成されます。ユーザが実際にSD-WANクラウドを導入していない場合、この不要なサブスクリプションはセキュアアクセス機能と競合します。この競合により、Secure Accessアプリケーションへの適切なログインが妨げられますが、Cloud PortalおよびDuoへの認証は成功します。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。